

研 究 所 彙 報

— 2009.1 ~ 2009.12 —

編著書・論文など

〔有菌正一郎所員〕

『江見農書－翻刻・現代語訳・解題－』あ
るむ、11月17日

『近代三河国庶民の日常食』『愛知大学総合
郷土研究所紀要』54輯、3月10日

『日本の農法と庶民の日常食から見えるも
の』『黒部川扇状地』34号、3月31日

(書評)『伊藤安男：台風と高潮災害－伊
勢湾台風－』『地理学評論』82巻5号、9
月1日

〔市野和夫非常勤所員〕

『豊川水系（愛知県）の水資源開発と設楽
ダム問題』『水資源・環境研究』21巻、3
月5日

『設楽ダム建設事業の事業再評価について』
『環境行政改革フォーラム論文集』2巻1
号、7月

〔遠藤正治非常勤所員〕

(解説)『宇田川榛斎訳述・同榕菴校補『遠
西医方名物』一字田川家の本草学と洋学
一』『日本科学技術古典籍資料 薬学篇[2]
一字田川榛斎訳述宇田川榕菴校補・遠西医
方名物考(原文篇(2))』(『近世歴史資料集
成』第Ⅴ期第11巻)科学書院、1月10日
『『泰西本草名疏』から『植学啓原』へ－近
代的植物用語はいかに創案されたか－』『伊
藤圭介日記』第15集、11月22日

(共編)『伊藤圭介日記』第15集(圭介文書
研究会)、名古屋市東山植物園、11月22日

〔櫻村愛子所員〕

『臨床社会学はこう考える－生き延びるた

めの理論と実践－』青土社、11月

(解説)『『心理学化論』は『心理学化社会』
を乗り越えるためのラカン派の武器であ
る』斎藤環『心理学化する社会』河出文庫、
1月

『コミュニケーション学の可能性－櫻村愛
子先生との対話』『コミュニケーション研
究』37、3月

〔加納寛所員〕

(翻訳)ブリーチャー・ヌンスック『タイ
を揺るがした護符信仰』第一書房、3月
(共編)日本タイ学会編『タイ事典』めこん、
9月

『大学生の日本史知識定着度』『文明21』
22号、3月

『戦時下日本による対タイ文化宣伝の一断
面』『中国21』31号、5月

〔神谷智所員〕

(史料紹介)『三河国八名郡岡部藩半原陣屋
御用留帳(二)』『愛大史学』第18号、3
月21日

『一色町所蔵"松本家文書"目録』『愛知県
史研究』第13号、3月

『大学のある風景－伝統・歴史と文教と庶
民の街－名古屋市東区(愛知大学車道校
舎)』『大学時報』327号、7月

〔沓掛俊夫所員〕

(共著)『日本地方地質誌5 近畿地方』朝
倉書店、2月25日

『Kukai (774-835 A.D.): Founder of the
Shingon sect of esoteric Buddhism and
his reference to geology, mining and

alchemy」『JAHIGEO Newsletter』No.11、
5月31日

(共訳)「アグリコラ " 地下の事物の起源と
原因について " (その12)」『地質学史懇話
会会報』No.32、5月31日

(共訳)「アグリコラ " 地下の事物の起源と
原因について " (その13)」『地質学史懇話
会会報』No.33、11月30日

〔栞原将人研究員〕

(共著)『天井平遺跡』豊川市教育委員会、
3月31日

〔権田浩美研究員〕

「<道化>のモダニティ」『宮沢賢治 中原
中也 立原道造の詩と時代の位置』、2月
15日

「言語を越えた交感—フランスに渡った中
原中也の詩魂—」『四季派学会会報』、6月
10日

「富永太郎と岸田劉生 アイロニーの美学
—富永太郎関連未刊行資料からみえてくる
もの—」『中原中也研究』14号、8月31日

「<プリミティヴ>な森の縁辺—富永太郎
関連未刊行資料からみえてくるもの—」『日
本近代文学』81集、11月15日

「<空>に浮遊する<死児>たち—中原中
也詩にみる<名辞以前>の帰趨—」『研究
論集』32号、12月25日

〔佐藤泰子研究員〕

「日本の暮らしの中の時間と空間と科学技
術」『女性と経験』34号、10月3日

〔須川妙子所員〕

「" はな橋 " にみる明治期の菓子業界—
一九〇〇年巴里万国博覧会への出品から学
んだこと—」日本風俗史学会中部支部『民
俗と風俗』19号、3月

「豊橋祇園祭における " 饅頭配 " につい
ての一考察」『愛知大学総合郷土研究所紀要』
54輯、3月

〔高橋賢研究員〕

「麻布十番林田小右衛門について」『日本歴

史』730号、3月1日

「林田小右衛門をめぐる史料調査」会報『三
河地域史研究』55号、11月20日

〔高原隆所員〕

「鬼師の世界—黒地：鬼福製鬼瓦所、藤浦
鬼瓦(1)—」『文明21』22号、3月

「鬼師の世界—黒地：杉浦彦蔵と窓庄—」『愛
知大学総合郷土研究所紀要』54輯、3月

「鬼師の世界—黒地：鬼福製鬼瓦所、藤浦
鬼瓦(2)—」『文明21』23号、9月

〔武田圭太所員〕

『産業・組織心理学への招待』有斐閣、11
月30日

「海外・帰国子女の生涯キャリア発達—予
備報告25: 在米日本人留学生のキャリア選
択に関する認知(3)—」『文學論叢』139輯、
2月20日

「JA 豊橋組合員の“ふるさと”の心象と定
住願望との関係」『愛知大学総合郷土研究
所紀要』54輯、3月10日

「在米日本人留学生の日米教育比較」『豊橋
創造大学紀要』13号、3月24日

「海外・帰国子女の生涯キャリア発達—予
備報告26: キャリア発達の基礎概念—」『文
學論叢』140輯、8月10日

〔田崎哲郎非常勤所員〕

「嘉永七年の朱印改めについて」『愛大史学』
18号、3月21日

「安政六年朱印改め 附天保十一年朱印状
請取」『愛知大学総合郷土研究所紀要』54
輯、3月10日

(解説)「羽田八幡宮文庫の歩み」『羽田八
幡宮文庫旧蔵本目録』、3月

(新刊紹介)「豊橋市中央図書館所蔵羽田八
幡宮文庫旧蔵本目録」『地方史研究』340号、
8月1日

(研究ノート)「弘前藩主津軽順承について」
『東日新聞』、1月9日

(研究ノート)「東三河と本居家」『東日新
聞』、2月2日

(研究ノート)「武田元順と井上元長」『東日新聞』、3月31日

(研究ノート)「三河と大日本史」『東日新聞』、7月14日

(研究ノート)「羽田野敬雄の水戸訪問」『東日新聞』、7月28日

(研究ノート)「維新時の神主の上京」『東日新聞』、9月26日

(時論)「目的税としての都市計画税」『東日新聞』、10月15日

(研究ノート)「安形貴林について」『東日新聞』、11月28日

【橘敏夫研究員】

「『春の日』巻頭「春めくや」の巻 脇句」『日本歴史』729号、2月

「大山敷太郎氏引用慶応三年助郷騒動関係史料の再発見」『愛大史学』18号、3月

【塚本弥寿人研究員】

『食べる!!～三好の食あれこれ～』三好町立歴史民俗資料館、10月10日

【佃隆一郎研究員】

(共著)『竜洋町史 通史編』磐田市、3月10日

「山田純三郎と『中国新軍閥混戦』-孫文死後数年間の山田の軌跡-」『オープン・リサーチ・センター年報』3号、3月31日

「近代日本軍事史を高校歴史教育にどう位置づけるか」『一般教育論集』37号、10月31日

「豊橋にあった陸軍教導学校と予備士官学校-愛知大学の"施設面での"前身"として-」『愛知大学史研究』3号、10月31日

【坪内淳仁研究員】

「名古屋の宇治製挽茶販売をめぐる新興茶商人と宇治茶師」『尾張藩社会の総合研究』第四編、9月20日

【長屋隆幸研究員】

「『戦功書上』の成立について」『織豊期研究』11号、10月

【早川勇所員】

「基本語彙を通じた日英文化比較-植物の世界-」『FOCUS』22号、3月

「日本における英語コロケーション辞典の誕生」『英学史研究』42号、10月

「日本関連主要英語文献と愛大図書館」『一般教養論集』37号、10月

【藤喜一樹研究員】

「環境問題における"ムラ人"の対応 - 小さなコミュニティの環境保全への経緯 -」『社会文化研究』11号、3月20日

【藤田佳久所員】

(共著)『神様王国-遠山郷神様王国のハンドブッカー』遠山郷神様王国運営委員会、3月1日

(共著)『東三河のミュージアム』愛知大学東亜同文書院大学記念センター、3月1日

「吉田東伍が描く古代三河の地域像」『愛知大学総合郷土研究所紀要』54輯、3月10日

(共著)「南信州遠山郷"神様王国"のオープンとその運営・評価」『年報・中部の経済と社会』2008年度版、3月31日

「東亜同文書院生が記録した90年前の中国・青海の地域像」『愛知大学東亜同文書院大学記念センター オープン・リサーチ・センター年報』第3号、3月31日

「東亜同文書院とその歩み」『愛知大学東亜同文書院大学記念センター オープン・リサーチ・センター年報』第3号、3月31日

「東亜同文書院の歩みと中国大旅行」『愛知大学東亜同文書院大学記念センター オープン・リサーチ・センター年報』第3号、3月31日

「三遠南信のまつり」『三遠南信「まつり」の魅力を考える』、3月

「The Development of Toa Dobun Shoin College in Shanghai from 1901 to 1945 and their Great Journeys for Regional Research on China」私家版、10月

(ノート)「中国の沙漠に緑化の実践を一初めての日中沙漠緑化サミット」『天地人』

第5号、1月

(ノート)「遠山郷 "神様王国" のスタートと期待」『信州日報』、1月

(ノート)「東亜同文書院から愛知大学創立への歩み—東亜同文書院生の "大旅行" 調査を中心に—」『MIKAWA NAVI』vol.141、1月

【別所興一所員】

「ドナルド・キーンの峯山像」『愛知大学総合郷土研究所紀要』54輯、3月10日

「『気の哲学』のリフォームを」『公共的良識人』213号、8月1日

(評論)「希望を語り、つなぐ」『社会科教科懇ニュース』18号、3月17日

(評論)「解説—内田雅敏編著の二部作を読んで」『追録 蘇った "いつつぼし" 記念パーティ』(れんが書房新社)、6月30日

(評論)「内田雅敏弁護士の編著書に寄せて」『あいち歴史教育』13号、7月10日

(書評)「内田雅敏編著『半世紀前からの贈物』—いま蘇る小学校二年生の文集」「戦争が遺したもの—『半世紀前からの贈物』補論」『追録 蘇った「いつつぼし」記念パーティ』『図書新聞』2941号、11月14日

(評論)「"人文知" の再生を」愛知大学図書館報『韋編』36号、11月15日

【堀井令以知非常勤所員】

『折々の京ことば』京都新聞出版センター、5月15日

【堀江登志実非常勤所員】

「徳川將軍家位牌安置と大樹寺」『愛知大学総合郷土研究所紀要』54輯、3月10日

【松岡敬二研究員】

「愛知県田原市山田池と滝頭下池の淡水貝類巻貝」『豊橋市自然史博研報』19、3月

「愛知県初記録の外來淡水巻貝コモチカワツボ」『豊橋市自然史博研報』19、3月

「豊橋総合動植物公園内に見られる陸産貝類」『豊橋市自然史博研報』19、3月

「愛知県のオオマリコケムシの追加記録」

『ため池の自然』No.47、11月

(連載)「牛のでてくるカルタ、①どうぶつかるた-力強い牛、②郷土玩具のかるた、③いろはかるた-商いは牛の涎、④なぞなぞかるた-モウモウ牛、⑤郷土カルタ (1) 牛の角突き、⑥郷土カルタ (2) 牧場の牛、⑦郷土カルタ (3) 牛に曳かれて善光寺」東日新聞、1月21日、22日、24日、25日、27日、29日、30日

【松村美奈研究員】

「創作的な活動を行う学習指導—中島敦『山月記』の発展的学習を例に—」『愛知論叢』86号、3月31日

「井原西鶴『本朝桜陰比事』試論—相続問題を中心に—」『一般教育論集』第37号、9月30日

「井原西鶴『本朝桜陰比事』について—尋問場面の重要性—」『短大研究論集』第32号、12月1日

【宮入興一所員】

(編著)『平成大合併における都市内分権化と地域自治組織の重層的展開—宮崎市の市町村合併を中心に— (愛大中産研研究報告第63号)』愛知大学中部地方産業研究所、1月

「被災者生活再建と地域社会復興への支援制度の展望」『議会と自治体』129号、1月
「災害復興における生活・生業再建支援制度の到達点と今後の課題」『愛知大学経済論集』179号、3月

「石油コンビナート災害と臨海部リスク管理の課題—四日市石油コンビナートを中心に—」『年報・中部の経済と社会』2008年度版、3月

【森田実研究員】

(共著)「矢作川流域の環境と人間—若干の水質特性—」『愛知大学総合郷土研究所紀要』54輯、3月10日

【和田明美所員】

「大学図書館と "大学の道" へのいざない

－ "大学の道にしばし習はさむの本意" (源氏物語)－ | 愛知大学図書館報『韋編』36号、11月

〔渡辺和敏所員〕

(監修)『豊橋市浄慈院日別雑記』Ⅲ、あるむ、3月15日

(監修)『二川宿本陣宿帳』Ⅱ、豊橋市二川宿本陣資料館、3月31日

『中之郷誌』二宮神社、10月1日

「東海道二川宿の本陣宿帳」『近世史叢』4号、3月18日

講演録「江戸時代の本陣」『松戸市立博物館紀要』16号、3月31日

学会・研究会報告および講演会など

〔有菌正一郎所員〕

[14th International Conference of Historical Geographers] 「Daily Diets of Common People at the Modern Era in Japan」8月27日、京都大学

[人文地理学会] 「『江見農書』の耕作技術の地域性」11月8日、名古屋大学

〔市野和夫非常勤所員〕

[三河湾共同研究里海研究集会] 3月14日、15日、愛知大学豊橋校舎

[豊橋市民大学トラム (三河生物同好会連携)] 「豊川と三河湾の水のつながり」6月27日、牟呂校区市民館

[ここのつの会講演会] 「設楽ダムの現状と課題」9月9日、豊橋カリオンビル

[賀茂校区文協講演会] 「設楽ダムについて」10月23日、賀茂校区市民館

[日進自然観会記念講演会] 「無駄な設楽ダム事業で壊される…豊川の自然」11月15日、日進文化会館

[シンポジウム設楽ダム建設事業を検証する①] 「本末転倒した " 流水の正常な機能の維持 "」11月14日、愛知大学豊橋校舎

[シンポジウム設楽ダム建設事業を検証する②] 「事実ではない " 少雨化による供給

不足 " を前提とした設楽ダム計画」11月21日、豊橋市職員会館

〔印南敏秀所員〕

[愛知学長懇話会教育交流・連携事業 " 持続可能な社会IX "] 「豊川河口域を中心とした浅海文化－里海という新たな考え方－Ⅰ・Ⅱ」5月8日、15日

[九州大学応用力学研究所共同研究集会 " 日本における里海概念の共有と深化 "] 「モク (水草・海草・海藻) と里海」10月9日 [水産海洋地域研究集会 " 第5回伊勢・三河湾の環境と漁業を考える "] 「水生生物の利用の歴史」12月5日

[広島大学地域貢献研究プロジェクトシンポジウム " 瀬戸内の過去・現在・未来 "] 「瀬戸内の文化－里山・里海」12月12日

〔遠藤正治非常勤所員〕

[実学資料研究会・洋学史学会合同大会] 「小野蘭山の門人について」3月29日、京都大学

[名城公園フラワープラザ・ナイトカフェ] 「『草木図説』の彩色稿本」6月18日、名古屋市名城公園フラワープラザ

[日本医史学会関西支部2009年合同秋季学術集会] 「蘭山の『本草綱目啓蒙』から榕菴の『植学啓原』へ」11月8日、京大会館
[『伊藤圭介日記』第15集出版記念会] 「『泰西本草名疏』から『植学啓原』へ」11月22日、名古屋市東山植物園

〔小笠原久和非常勤所員〕

[愛知工科大学特別講義] 「蒲郡の古代雑考」5月11日、愛知工科大学

[蒲郡市観光ボランティア研修講演会] 「蒲郡の名所旧跡」11月11日、蒲郡市生きがいセンター

[蒲郡ライオンズクラブ定例講演会] 「上ノ郷城跡の調査」11月20日、イルマール蒲郡出雲殿

〔加納寛所員〕

[愛知大学後援会岐阜支部総会] 「いま、外

国史を問う意味」6月28日、岐阜都ホテル
 [豊橋市トラム講座]「戦時下日本の対タイ
 文化宣伝」11月7日、愛知大学豊橋校舎
 [国際教育発展・協力研究会・第三世界の
 教育研究会合同研究会]「タイにおける戦
 後の文化政策展開:1947-1980」11月28日、
 京都女子大学

[愛知大学・JICA 中部・NIC 連携シンポ
 ジウム「地域を元気にする多文化共生」]「愛
 知大学における多文化共生:愛知大学は多
 文化共生のハブとなりえるか?」12月13
 日、愛知大学車道校舎

〔神谷智所員〕

[愛知大学公開講座「遠州歴史散歩」]「近
 世遠州における村から地域への展開」7月
 11日、クリエート浜松

[第8回「西廻り」航路フォーラム—北前
 船資料にみる右近権左衛門家—]「右近権
 左衛門家と福井藩と地域社会」11月8日、
 福井県南條郡南越前町河野総合事務所

〔沓掛俊夫所員〕

[SMBC セミナー]「温暖化は脅威か?」6
 月17日、SMBC パーク栄

〔栞原将人研究員〕

[東三河生涯学習連携講座]「獣虫害と防御
 ～猪垣と虫送りの民俗例を中心に～」10
 月10日、豊川市音羽文化ホール

〔権田浩美研究員〕

[愛知大学蒲郡市民教養講座]「丸山薫の世
 界—オトギバナシのむこうがわ—」8月1
 日、蒲郡市民会館

〔鈴木源一郎研究員〕

[NHK 文化センター]「ヤマトタケルの足
 跡を訪ねる」8月21日、白鳥陵(熱田神宮)、
 伊吹山

[NHK 文化センター]「ヤマトタケルの足
 跡を訪ねる」11月20日～21日、甲府市
 酒折宮

[豊橋文学めぐり]「古事記・日本書紀と東
 三河の神社について」11月12日、豊橋市、

豊川市、蒲郡市

〔高橋賢研究員〕

[三河地域史研究会]「麻布十番林田小右衛
 門について」7月11日、安城市文化センター
 [第48回近世史サマーセミナー分科会]
 「麻布十番林田小右衛門について」7月18
 日、岡崎市桑谷山荘

〔高原隆所員〕

[愛知大学オープンカレッジ]「アメリカの
 文化・社会」7月18日、吉良町公民館

[市民大学トラム総合講座]「記号論と文化」
 11月21日、愛知大学豊橋校舎

〔武田圭太所員〕

[平成20年度新城市生涯学習市民大学]「ふ
 るさつによる『私』の再確認」1月24日、
 新城文化会館

[大府青年会議所35周年記念事業郷土映
 画制作発表会特別講演]「ふるさと—『私』
 の始原」3月12日、あいち健康プラザホール

[産業・組織心理学会第25回大会]「生涯
 発達初期の選択行動(6)—学歴による職
 業生活意識の差異—」8月29日、八戸大学

[平成21年度男女共同参画市民協働企画セ
 ミナー「男女共同参画ってなあに??」]「男
 女共同参画の理念と在り方」9月4日、豊
 橋市職員会館

(コーディネーター)[愛知大学総合郷土研
 究所主催公開シンポジウム]「第二のふる
 さとのくらし」9月12日、愛知大学豊橋
 校舎

〔田崎哲郎非常勤所員〕

[第8回「地域・産業・大学」公開研究発表会]
 「平田国学の再吟味」2月14日、愛知大学
 豊橋校舎

[窓の会]「朱印改めについて」2月17日、
 豊橋市カリオンビル

[96年の会]「庶民は將軍をどう認識した
 か」5月17日、名古屋国際センター

〔坪内淳仁研究員〕

[宇治市歴史資料館講演会]「尾張藩におけ

る茶の湯の掬がり」6月24日、宇治市歴史資料館

[第6回日本カテキン学会 シンポジウム3 <抹茶文化における機能性研究>]「日常の中の茶の湯」9月9日、名古屋国際会議場

[長屋隆幸研究員]

[金沢城調査研究所客員研究員会議]「土佐藩の公儀普請」、金沢城調査研究所

[近世史研究会]「交代寄合西高木家の幕末軍制改革」11月28日、名古屋大学

[野田賢司補助研究員]

[愛知県平成20年度豊川流域圏づくり推進事業・実践活動発表会]「環境保全活動と交流推進の取組について」1月24日、愛知大学豊橋校舎

[愛知県平成20年度豊川流域圏づくり推進事業・実践活動合同報告会]「環境保全活動と交流推進の取組結果」2月24日、愛知大学豊橋校舎

[三河コンヴェクションアカデミー・第16回ウイークエンドセミナー]「水の絆の再生を目指す地域づくり活動（住民主体の豊川流域圏づくりの推進）」7月18日、新城市鳳来地域間交流施設

[早川勇所員]

[講演]「The Emergence of the English-Japanese Dictionary Coinage of New Words for New Japan」2月14日、Faculty of Oriental Studies, The University of Oxford

[片茂永所員]

[第37回東アジア古代学会学術発表大会（韓国）]「アジア世界と三国－高句麗古墳壁画三本蓮華化生の国際性と固有性」5月23日、韓国伝統文化学校

[平川雄一研究員]

[GIS Day in 愛大 2009 GISが解き明かす地域のすがた－住民・地域・自治体－]「とよがわ流域大学修了生によるマップ作成活動の取り組み－豊川リバーウォークマップ

の試み－」4月30日、愛知大学豊橋校舎
[藤田佳久所員]

[日本沙漠緑化実践協会と沙漠サミット報告会]「日本沙漠緑化実践協会と沙漠サミット」1月15日、鳥取市

[「水とくらし」フォーラム]「豊川の特性と霞堤」1月23日、豊橋市

[豊橋北ロータリークラブ]「東亜同文書院のあゆみと大旅行」2月3日、豊橋市

[第8回「地域・産業・大学」公開研究発表会]「南信州・遠山郷に発足した「神様王国」の評価」2月14日、愛知大学豊橋校舎

[愉快的仲間たち総会]「遠山郷の活性化と「神様王国」」3月15日、飯田市

[シカゴ大学ライブラリー研究会]「The Development of Toa Dobun Shoin College in Shanghai from 1901 to 1945 and their Great Journeys at Regional Research on China」3月30日、シカゴ大学

[孔子学院・オープンカレッジ]「中国の環境と沙漠・砂漠化」4月24日、愛知大学車道校舎

[東三河地区校友会]「東亜同文書院のあゆみと世界最大の「大調査旅行」」6月27日、愛知大学豊橋校舎

[14th International Conference of Historical Geographers]「The Development of Toa Dobun Shoin College at Shanghai from 1901 to 1945 and their Great Trips for Regional Researches on China」8月26日、京都大学

[愛知大学職員研修会]「東亜同文書院のあゆみと中国大旅行」8月31日、愛知大学豊橋校舎

[穂の国エコカレッジ]「穂の国古代における生活空間の歴史的展開」、「穂の国中世・近世における生活空間の歴史的展開」9月11日、愛知大学豊橋校舎

[愛知大学東亜同文書院大学記念センター

神戸講演会・展示会]「東亜同文書院のあゆみと"大旅行"調査」11月3日、神戸市国際センター

[人文地理学会]「20世紀前半期における漢人の満州への流入について」11月8日、名古屋大学

[愛知大学大学院リレー講演会]「地域資源を生かした地域づくり—南信州・遠山郷に"神様王国"をつくる—」11月21日、愛知大学車道校舎

[ICCS国際シンポジウム]「日本人による中国乾燥地域における緑化活動について」12月19日、愛知大学名古屋校舎

(パネリスト) [フォーラム「水とくらし」]「豊川(とよがわ)をめぐる知恵」1月23日、豊橋市

(コーディネーター) [生物多様性研究会"生物多様性・森・川・海シンポ"] 3月7日、愛知大学

(コメンテーター) [中国環境問題の2発表] 3月9日、愛知大学車道校舎

(コーディネーター) [全国県境研究会]「こなものの食で地域連携」9月25日、八戸市
(コーディネーター) [経済地理学会大会シンポジウム]「地域政策の分岐点—21世紀の地域政策のあり方をめぐって—」9月26日、大阪市立大学

(エクスカッション案内) [穂の国エコカレッジ]「豊川流域・音羽川流域」11月14日

【別所興一所員】

[窓の会]「村松愛蔵の"行動的な愛" 民権運動指導者から救世軍兵士へ」10月15日、豊橋市カリオンビル

[第10回東アジア実学国際シンポジウム]「勝海舟の東アジア認識と"文明開化"観」10月31日、プレスセンター国際会議場(韓国ソウル)

[第92回公共哲学京都フォーラム]「"日本開闢"を準備した山片蟠桃と勝海舟—田中正造の"志民"像を展望して」11月2日、

神戸ポートピアホテル

[田原市ロータリークラブ例会]「今なぜ勝海舟か」12月4日、蒲郡信用金庫田原支店(企画・司会) [安井俊夫ミニ講演会]「戦争と平和の学び方」2月20日、愛知大学豊橋校舎

【堀江登志実非常勤所員】

[浄土宗西山深草派寺院研修会]「三河における寺社経営と修復」8月29日、岡崎市大林寺

[大平市民センター講座]「近世の大樹寺」9月17日、岡崎市大平市民センター

[中央市民センター歴史講座]「二十七曲りと岡崎の町」9月19日、岡崎市中央市民センター

[知立市郷土研究会]「譜代大名本多家」12月8日、知立市中央公民館

[大平市民センター講座]「岡崎宿と藤川宿」12月17日、岡崎市大平市民センター

【松岡敬二研究員】

[第132回化石研究会例会]「シンポジウム"古生物の復元"」11月21日、豊橋市自然史博物館

[岡崎市社会教育審議会]「化石でたどる地球環境」7月7日、豊橋市自然史博物館

[平成21年度設楽町・豊橋市女性交流会]「地球環境の歴史」7月11日、豊橋市自然史博物館

【松村美奈研究員】

[第41回解釈学会全国大会]「運敵著『寂照堂谷響集・谷響続集』について」8月26日、同志社女子大学

【宮入興一所員】

[全国災害対策連絡会災害復興研究・運動全国交流集会]「被災者の生活再建と地域社会の復興への展望—新潟県中越沖地震災害を中心に」8月30日、柏崎市産業文化会館

[東三河くらしと自治研究所・自治体財政研究講演会]「いま、地方財政は大丈夫か

－平成の大合併・三位一体改革・地方財政健全化法－」10月4日、豊橋市民センター
 [日本財政学会第65回大会]「米軍再編下の沖縄における自治と財政（企画セッション ディスカッション）」10月25日、京都大学

[経済地理学会中部支部例会]「平成大合併における大規模合併下での地域自治組織の重層的展開」11月1日、中部大学

〔村瀬典章研究員〕

[今川自治会]「江戸時代の今川村」2月7日、今川市民館

[刈谷城址研究会]「刈谷城の変遷について」4月19日、西部市民館

[刈谷ロータリークラブ]「刈谷の山車について」5月11日、刈谷商工会議所

〔和田明美所員〕

[美夫君志会八月例会]「"秋風"の挽歌－七妾悲傷歌をめぐって－」8月2日、中京大学

[岡崎読書会]「『源氏物語』千年の魅力（その二）」12月5日、岡崎市連尺学区市民ホーム

[その道の達人に学ぶ会]「ほんもの体感講座 "古典文学&短歌" 実作コース」12月19日、一色中学校

現地調査

〔有菌正一郎所員〕

[サイパン島における水田跡地の植生調査] 3月1日～5日、北マリアナ諸島サイパン島

〔市野和夫非常勤所員〕

[学会・市民団体等による豊川水系、ダム予定地等現地視察の案内（ガイド）] 5月2日、7月5日、7月19日、8月9日、9月25日、10月2日、豊川水系

〔小笠原久和非常勤所員〕

[上ノ郷城跡第3次発掘調査] 1月26日～2月28日、蒲郡市神ノ郷町

[上ノ郷城跡第4次発掘調査] 5月28日～7月25日、蒲郡市神ノ郷町

〔加納寛所員〕

[科研基盤研究「東南アジア平原地帯における複合的な資源利用とその持続的発展に関する研究」] 3月1日～8日、カンボジア

〔神谷智所員〕

[「ミツカングループ本社所蔵文書」（中埜又左衛門家文書）調査] 2月15日～16日、5月2日～4日、11月22日～23日、日本福祉大学美浜キャンパス

[八番組文書調査] 3月3日～5日、幡豆町歴史民俗資料館

[平松快典家文書調査] 3月15日～16日、9月13日～14日、12月20日～21日、小布施町図書館・小布施町役場

[右近権左衛門家文書調査] 3月28日～30日、10月24日、福井県南條郡南越前町河野総合事務所

[宮川家向山家文書調査] 3月25日～28日、9月10日～11日、12月22日～25日、福井県南條郡南越前町河野小中学校、河野図書館

[上長山区有文書調査] 5月9日～10日、豊川市上長山公民館

[松平文庫調査] 10月11日～12日、10月25日、福井県文書館、福井県図書館

〔沓掛俊夫所員〕

[仰木岩体の地質調査] 3月20日～21日、5月5日～6日、7月18日～19日、10月11日～12日、比叡山の北部

〔兼原将人研究員〕

[長沢城土塁の測量調査] 1月6日、8日、10日、12日、豊川市長沢町

[豊川市域に残る猪垣の分布調査] 2月21日、22日、28日、3月1日、7日、8日、15日、21日、28日、4月18日、19日、12月26日、豊川市大木町、足山田町、上長山町、東上町、長沢町

[東上区有文書の調査] 5月13日、8月7日、11月1日、豊川市東上町妙劉寺

[牛久保の若葉祭における笹踊りの調査] 4月5日、豊川市牛久保町

[御津神社例大祭における烏賊祭りの調査] 4月18日、19日、豊川市御津町広石

[三河一宮地域に残る地搦作業の調査] 7月11日、豊川市一宮町大プロ会館建築現場

[引馬神社例大祭における七福神踊りの調査] 7月28日、8月2日、豊川市御津町御馬

[市田神社例大祭における火祭りの調査] 9月5日、15日、豊川市市田町

[佐藤泰子研究員]

[“於大の方”の遺跡調査] 6月10日、蒲郡市、刈谷市、阿久比町

[南北朝期の遺跡調査] 11月19日、豊田市足助、小原地区

[鈴木源一郎研究員]

[諏訪大社の祭神と御柱について] 11月20日～21日、諏訪大社（上社本宮、上社前宮、下社春宮、下社秋宮）

[高橋賢研究員]

[小林篤太郎に関する調査] 1月30日～31日、国立国会図書館東京本館

[小林篤太郎に関する調査] 3月24日～25日、8月20日、三育学院大学深澤記念図書館（大多喜町）

[愛知県庁文書調査] 4月21日、愛知県公文書館

[小林篤太郎に関する調査] 5月12日～13日、福音社編集部（立川市）

[『東海日日新聞』調査] 8月21日、東京大学大学院法学政治学研究科附属近代日本法政史料センター明治新聞雑誌文庫

[愛知県庁文書調査] 10月15日、11月6日、国文学研究資料館

[武田圭太所員]

[過疎地へのIターン調査] 9～10月、北設楽郡東栄町

[橘敏夫研究員]

[中山道赤坂宿史料調査] 3月29日、大垣市立図書館

[東海道二川宿史料調査] 5月22日、豊橋市二川宿本陣資料館

[東海道鳴海宿史料調査] 10月16日、名古屋市市政資料館

[塚本弥寿人研究員]

[長沢城土塁の測量調査] 1月10日、豊川市長沢町

[豊川市域に残る猪垣の分布調査] 2月21日、3月21日、豊川市大木町、足山田町、上長山町、東上町

[長屋隆幸研究員]

[石垣・穴太史料調査] 12月19日、20日、大坂城、高知県立図書館

[野田賢司補助研究員]

[一色排水路の水質現況調査(夏季観測Ⅱ)] 8月8日～9日、幡豆郡一色町地内

[梅田川下流の水質現況調査(夏季観測)] 8月22日～23日、豊橋市植田町始め

[東海(恵南)豪雨その後の住民意識調査Ⅱ・平谷村気温調査] 8月27日～29日、平谷村及びその周辺

[矢作川上流部の水質調査(矢環研第7回矢作川の現状把握活動)] 10月1日、矢作川、明智川

[豊川流域圏づくり実践活動(リバーウォーク)体験者の環境認識調査] 11月7日、14日、設楽町、豊橋市地内

[平川雄一研究員]

[豊川リバーウォークマップ作成調査] 1月25日、設楽町、新城市

[豊川リバーウォークマップ作成調査] 1月30日、豊橋市

[豊川リバーウォークマップ作成調査] 2月1日、設楽町

[豊川リバーウォーク調査] 4月4日、新城市

[豊川リバーウォーク調査] 4月11日、豊橋市

[豊川リバーウォーク調査] 5月2日、豊川市、豊橋市

[豊川リバーウォーク調査] 5月9日、設楽町、新城市

[豊川リバーウォーク調査] 6月6日、新城市、豊川市

[矢作川流域の水文調査] 8月26～30日、平谷村、恵那市、豊田市、岡崎市、西尾市

[過疎集落の安心・安定の暮らし維持構想調査] 9月25日、10月23日、11月28日、阿南町

[新城市作手地区Sバス沿線調査] 11月29日、新城市

[新修豊田市史現地調査] 12月3日、豊田市

[藤喜一樹研究員]

[四日市公害の非認定患者の実態について] 10月、三重県四日市市磯津集落

[藤田佳久所員]

[「神様王国」基礎調査] 毎月、遠山郷一带

[東亜同文書院関係調査] 1月、4月、5月、9月、10月、鳥取、熊本、東京ほか

[中国青海省調査] 7月、中国西寧、門源ほか

[蒲郡総合調査] 8～9月、蒲郡市

[別所興一所員]

[故小澤耕一氏（渡辺崋山研究者）宅所蔵資料調査] 1月22日、2月19日、5月29日、8月26日

[昭和20～30年代渥美半島地域の文化運動関係者（杉浦明平周辺）2名の聞き取り調査（徳島大学・鳥羽耕史、和光大学・道場親信両氏とともに）] 1月23日、田原市筆者宅

[松岡敬二研究員]

[豊川調査] 3月21日、4月5日、10月29日、10月31日、豊橋市、新城市

[干潟調査] 5月25日、7月11日、12日、8月3日、10月23日、汐川干潟、幡豆町

[足跡化石調査（淡水貝化石）] 5月15日、8月14日、三重県鈴鹿市

[陸貝淡水貝調査] 5月18日、5月31日、6月1日、豊橋市、田原市

[宮入興一所員]

[阪神・淡路大震災復興14年調査] 1月17日～18日、神戸市

[市町村合併現地調査] 2月1日～4日、宮崎市（旧宮崎市佐土原、田野、広瀬）

[東三河の歴史と開発問題調査] 5月2日、新城市（医王寺、長篠城址博物館、大鳥ダム）

[地域防災計画の現状調査（1）] 7月23日、名古屋市役所

[地域防災計画の現状調査（2）] 11月13日、静岡県庁

[四川大地震調査] 11月19日～25日、中国四川省（成都、都江堰、綿陽、青川）

[市町村合併と地方自治調査] 12月4日～7日、長崎市

[森田実研究員]

[矢作川上流域における恵南豪雨災害の被災状況とその後の復興状況についての調査] 8月27日～30日、矢作川上流域（平谷村、恵那市等）

[和田明美所員]

[古代東山道神坂峠と園原周辺] 4月30日、5月1日、長野県下伊那郡阿智村

[京都国立博物館及び盧山寺他] 9月18日～19日、京都市東山区茶屋町ほか

活動報告

共同研究三河湾 研究会

テーマ 「幕末の農民日記に見る海辺のくらし」

日 時 2月14日（土）

講 師 辻井善弥（横須賀市文化財専門審議会委員）

三河湾共同研究里海研究集会

日 時 3月14日（土）

内 容 「EMEC S 8での「里海」の評価について」

柳 哲雄（九州大学教授）

「民俗空間としての海辺」

高桑守史（大東文化大学教授）

日 時 3月15日（日）

総合討論 朝岡康二（国立歴史
民俗博物館名誉教授）総合司会

総合郷土研究所公開シンポジウム

日 時 9月12日（土）

テーマ 「第二のふるさとの暮らし」

【発表者】

○大村 孝子

（家族で名古屋市より東栄町へ移住、
主婦）

○谷川美恵子

（大阪府高槻市より東栄町に移住、
チェーンソーアートクラブ事務局勤
務）

○高田 佳宏

（名古屋市より東栄町に移住
東栄町森林組合職員）

地域見学会

テーマ 「^{たはらびと}田原人の暮らし探訪」

一蔵王山で現在の概況を展望したあと、
先史から現代の田原人の暮らしを探る。一

日 時 9月27日（日）

見学地 蔵王山展望台・渡辺嶺山居宅跡・
嶺山神社・田原市博物館・吉胡貝塚
・伊川津貝塚等

刊 行 物

「愛知大学総合郷土研究所紀要」第54輯
愛知大学総合郷土研究所ブックレット17
『東海道二川宿』 三世善徳 著
資料叢書 『豊橋市浄慈院日別雑記Ⅲ』
渡辺和敏 監修